

## 再評価結果（平成21年度 事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：深澤 淳志

<b>事業名</b> <small>ちゅうぶおうだんじどうしゃどう とみざわ るくごう</small> 中部横断自動車道（富沢～六郷）	<b>事業</b> ：高速自動車国道 <b>区分</b> ：（新直轄区間）	<b>事業</b> ：国土交通省 <b>主体</b> ：関東地方整備局
<b>起終点</b> 自）山梨県南巨摩郡南部町 至）山梨県西八代郡市川三郷町	<b>延長</b> 28.3 km	
<b>事業概要</b> 中部横断自動車道は、静岡・山梨・長野3県を最短ルートで結ぶとともに、東名・中央・上信越自動車道とネットワークを形成することにより、沿線地域の産業・経済・文化・観光等の発展及び振興に資する路線である。		
H17年度事業化		H - 年度都市計画決定
H18年度用地着手		H20年度工事着手
全体事業費	2004億円	事業進捗率
計画交通量		13,500～17,400台/日
<b>費用対効果分析結果</b>	B / C : (事業全体) 1.2	総費用 : (残事業)/(事業全体) 1539/1652億円 (事業費：1490/1603億円 維持管理費：49/49億円)
	(残事業) 1.3	総便益 : (残事業)/(事業全体) 1987/1987億円 (走行時間短縮便益：1575/1575億円 走行経費減少便益：319/319億円 交通事故減少便益：93/93億円)
<b>基準年</b> ：平成20年度		
<b>感度分析の結果</b> ：残事業について感度分析を実施 交通量：B/C=1.2～1.4（交通量±10%） 事業費：B/C=1.2～1.5（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.2～1.3（事業期間±20%）		
<b>事業の効果等</b> ・災害への備え（事前通行規制区間の代替路線、緊急輸送道路が通行止めになった場合の代替路線を形成） ・物流効率化の支援（特定重要港湾へのアクセス向上） 他11項目に該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 山梨県知事など4県35市町村の首長等で構成される中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会による早期整備の要望（H20.11.27）（計25回）を受けている。 また、新たな中期計画策定に向けて、山梨県、身延町、南部町等から早期整備要望が提出されている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 中部横断自動車道（吉原JCT～双葉JCT）のうち、平成18年迄に中央道と接続する双葉JCT～増穂IC間が供用している。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 現在、用地取得率は44%であり、平成20年度より工事に着手している。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 今後も引き続き用地買収の推進を図るとともに、道路改良・構造物工事を推進していく。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> -		
<b>対応方針</b>	事業継続	
<b>対応方針決定の理由</b>	用地取得は順調に進んでおり、全区間で工事に着手するなど、早期の効果発現を図ることが適切である。	
<b>事業概要図</b>		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。